



認知症の困りごと・心配ごと ご相談ください

こんなことはありませんか…？



介護サービスを利用したいが、どうしたらよいかわからない

最近、頭がぼんやりして物事が考えられない

認知症の専門機関になかなか、受診できない。相談するところがない

もの忘れの症状がひどく、困っている

認知症は、早期発見・早期診断・早期対応が大切です。



初期集中支援 **集中的にサポートいたします**

認知症初期集中支援チームってどんなことをするの？

認知症の人やその家族に対して、認知症かどうか診断したり、適切な医療サービスや介護サービスを紹介したりするために、チーム員が自宅に訪問して一定期間（おおむね6か月以内）集中的に支援します。



チーム員はどんな人たちのの？

医療、福祉、介護の専門家たちによって構成されています。

- 医師 ● 保健師 ● 看護師 ● 作業療法士
- 歯科衛生士 ● 精神保健福祉士
- 介護福祉士 ● 社会福祉士
- 地域包括支援センター職員 など

どうして「早めの対応」が必要なの？

認知症は、現在完治が難しい病気とされていますが、早期に発見して適切な対処をすれば、その人らしい充実した暮らしを続けることができるからです。

早期発見によるメリット

- 早期治療で改善も期待できる
- 進行を遅らせることができる
- 事前にさまざまな準備ができる



対象となる人は？

40歳以上の自宅で生活している認知症の人や認知症が疑われる人で、

- ◎ 認知症の診断を受けていない人や治療を中断している人
- ◎ 適切な医療サービスや介護サービスを受けていない人
- ◎ 医療サービスや介護サービスを利用しているも症状が悪化して対応に悩んでいる人などが対象となります。

相談から支援までの流れ

地域包括支援センターなどに相談



初回家庭訪問

依頼を受けたチーム員2～3人で訪問します。
※その後も必要に応じて訪問



チーム員会議

適切な医療サービスや介護サービスを検討し、ケア方針を作成します。

- 専門医療機関の紹介
- 受診に向けた適切な方法
- 本人の状態にあった介護保険サービス など



初期集中支援の実施



医療やケアマネジャーなどへの引き継ぎ・支援



本人が受診を拒むこともあります。

「自分が認知症かもしれない」という不安はとても大きなものです。家族など周囲が受診をすすめても、本人が頑なに拒むこともあります。そんなときは、まずは家族だけで地域包括支援センターなどに相談し、アドバイスを受けることもできます。

